SURE 静岡大学学術リポジトリ
Shizuoka University REpository

浜名湖北方を訪ねて：冬季巡検報告

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2018-07-19 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 青島, 晃 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.14945/00025512

浜名湖北方を訪ねて

—冬期巡検報告—

青島　　晃*

1　はじめに

静岡県地学会の冬季巡検会が、昨年12月26日、浜名湖北方の三ケ日から奥山を中心に行われた。コースは、「えんそくの地学」（地学会発行）の、〝大福寺から奥山まで〟のコースとほぼ同じである（図1）。案内役は、このコースを執筆された県立浜松西高校の森田明宏会員であった。

巡検当日、天気は快晴だが、遠州の空っ風が身にしみる。集合場所は、東名三ケ日インター出口で、10時には22名の参加者が集まった。始めに、副会長あいさつ、講師紹介が行われ、今日の日程の説明の後、5台の自家用車に分乗して、巡検会がスタートした。

2　三ケ日人と只木遺跡

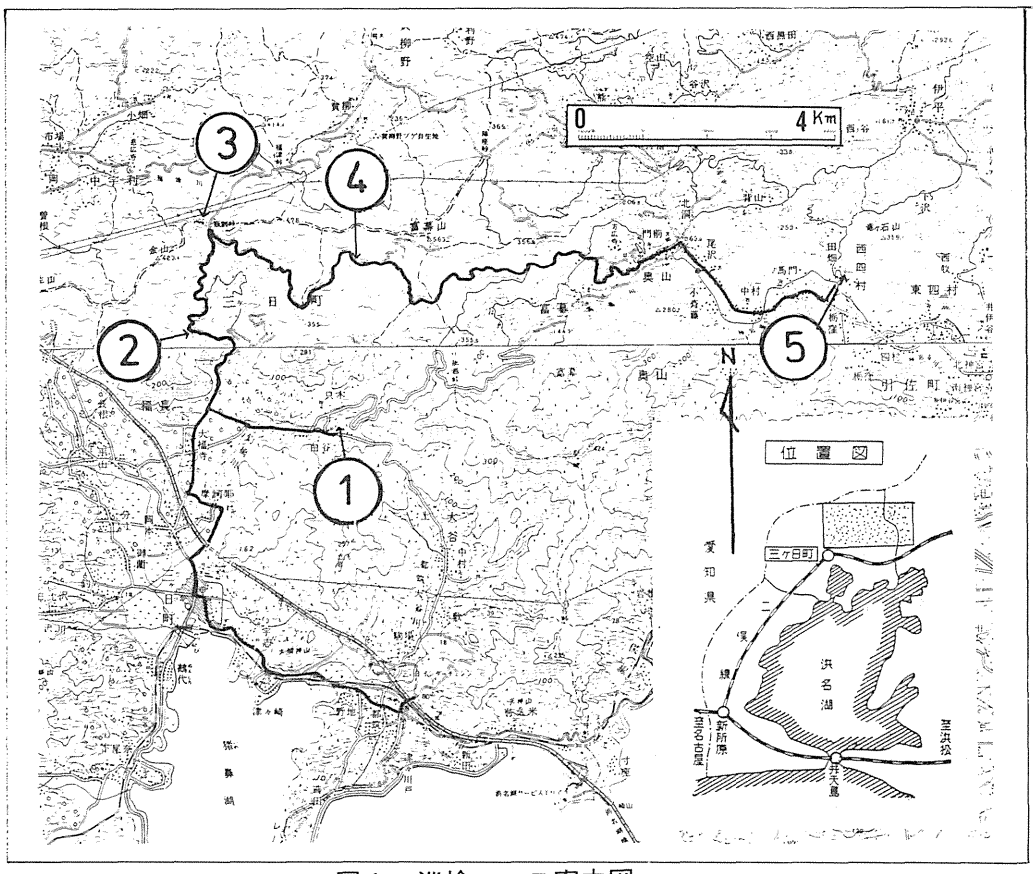

図1　巡検コース案内図

三ケ日インターから15分ほどで、最初の目的地である只木遺跡①に到着した。ここは、三ケ日人の人骨が発掘された所である。この人骨は、昭和34年秋に石灰岩の採石をしていた時、その石灰岩の割れ目に堆積していた赤土の中から偶然発見されたものである。その後の発掘調査により、多くの洪積世動物化石（パレオロクソドン・オオツノジカ等）とともに、人の骨盤や頭骨の破片が発見された。現在は、三ケ日町の貴重な文化遺産として管理されている。みかん畑の中にポツンと立つ電話ボックス様の説明機のボタンを押すと、延々10分にも及ぶ三ケ日人と露頭の解説のテープが流れ、一同感心してしまった。人骨の発見された石灰岩のがけは溶解による風化が進んでお

*静岡県立磐田北高校

り、いたる所に割れ目がみられた。参加者はその石灰洞の中に入ったり、岩石を観察したりして、旧石器時代の生活に思いをはせていた。

3　富幕山周辺のみかぶ緑色岩類

只木遺跡を後にして、納豆で有名な大福寺の横を通過し、10分ほどで瓶割峠へ通ずる県道にある露頭地点②に到着した。細い県道いっぱいに車を止め、この付近に分布する岩石の説明を受けた。この

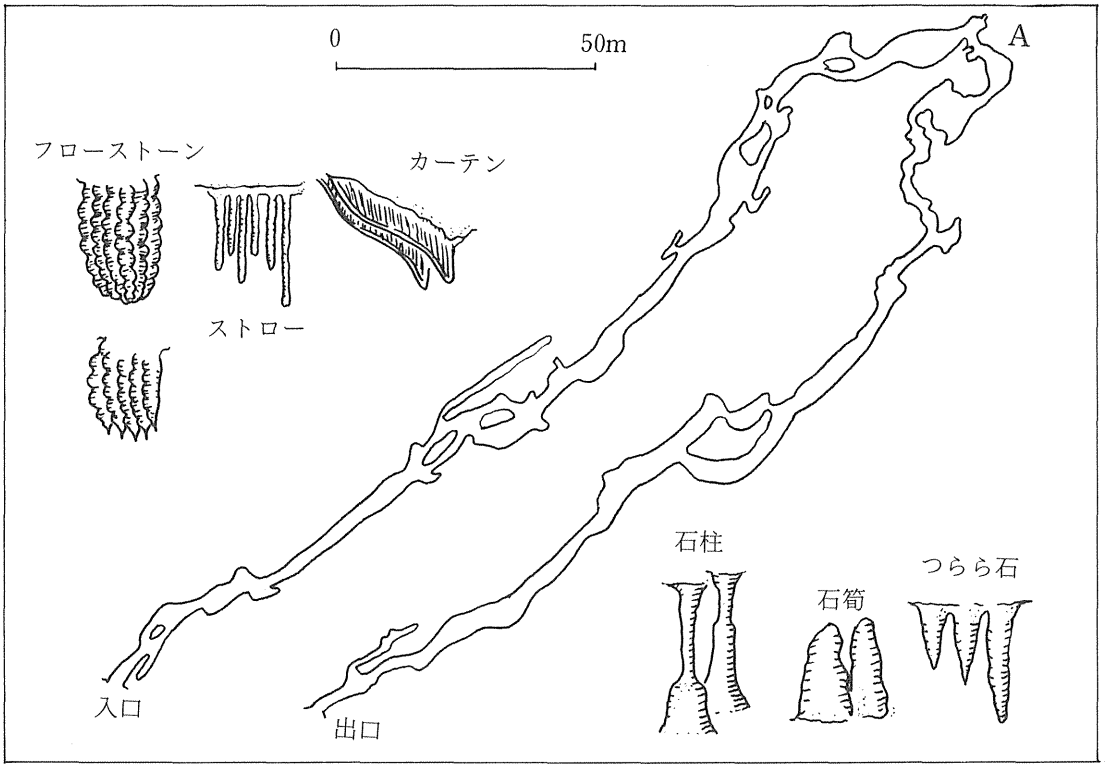

図2　竜ケ岩洞略図および代表的鐘乳石
鐘乳洞はAのところからさらに奥へ続いているが見学はできない

地域には、南から順に玄武岩・粗粒玄武岩・はんれい岩などの塩基性岩と、角せん岩、蛇紋岩化したかんらん岩などの超塩基性岩が分布しており、これらが順番に観察されるということであった。

まず、県道ぞいに瓶割峠に向かうと、見かけは暗緑色で同じように見えるが、造岩鉱物の粒度が異なり、細粒の玄武岩から、しだいに粗粒玄武岩・はんれい岩に移り変わってゆくようすが観察できた。

瓶割峠③では、採石場の許可を受けて、角せん岩とかんらん岩の大露頭を観察した。これらの岩石は砕石して、道路や線路の敷石に使われているということであった。

瓶割峠から、富幕山の中腹を通る林道に入った。林道に沿うカットには、かんらん岩の他、玄武岩の岩脈や蛇紋岩、細粒はんれい岩などが露出していた。一方、木立の間からは、雄大な奥浜名湖の展望が開けていた。林道の中間地点④では、黒っぽい部分と白っぽい部分が層状になったかんらん岩が観察できた。これは、鉱物が結晶する段階で、かんらん石の多い部分と輝石・斜長石の部分が層を作り、風化に弱いかんらん石が差別浸食を受けて、凹凸のある面を作ったということであった。このような露頭はたいへん珍しいということから、参加者の中には写真を撮ったり、サンプルを採集する人が多かった。この地点を後にして、一気に奥山方広寺に下り、やや遅い昼食をとった。

4　竜ケ岩洞（りゅうがし）

奥山方広寺を出発して、車で10分ほどで最後の目的地である竜ケ岩洞⑤に到着した。竜ケ岩洞は、秩父中古生層に属する浜名湖北方石灰岩地帯にある鐘乳洞である。この鐘乳洞は、最近、観光開発されたばかりであるが、延長1,000 mにもおよび、鐘乳石も数多く、奥浜名湖の観光名所の1つにもなっている（図2）。記念写真を撮った後、洞の中に入ると、照明に浮き上がる石柱や石筍の神秘的な造形美に、参加者一同、思わず歓声があがった。鐘乳石のひとつひとつには、その形から由来する名前がつけられている。洞内は平均気温15°Cで一定していて、外の空っ風とは裏腹に内部はむしろ暖かかった。一巡すること20分、出口に全員そろったところで解散。山の端に日の沈む4時であった。

おわりにあたり、資料をととのえ、寒い中、終始適切な案内をして下さった森田会員に心から感謝する。

（参加者）川平、浜田、舞木、小川、高柳、兼高、松浦（重誠）、松浦（理博）、田力（哲雄）、田力（道代）、青木、桜井（貞彦）、河村、桜井（美津夫）、松本、河西、八木、有賀、藤井（恒哉）、藤井（恒人）、半田、青島。